

EYE ON AMERICAN CULTURE



移民の国アメリカ文化の散歩道-VAからNASAまで-



BY
JACK BRAJCICH
TOSHIHIRO TANIOKA

EIHŌSHA

EYE ON AMERICAN CULTURE

【移民の国アメリカ文化の散歩道】
—VAから NASA まで—

by

JACK BRAJCICH

TOSHIHIRO TANIOKA

EIHŌSHA

はしがき

このテキストは、英語の総合力の向上とアメリカ文化理解を深めることを主眼にした教材です。ただ、今回、本テキストを著わすにあたり、授業にバラエティを考え次の二点に留意しました。一点は、各ユニット(課)の構成においてです。従来4技能の学習に加え、TOEIC等の検定試験にも対応する問題をも加え、一層の総合教材化に努めました。従って、このテキストは、読解又は検定試験問題を解くドリルだけに特化した教材ではありません。二点目は、毎回扱うトピックの、ほぼ全部が独立した内容であるということです。従って、毎回の授業は、原則、新たなトピックでの学習になります。いずれも、学生が、授業を受講するにあたり、常に新鮮な気持ちで取り組んでほしいのと、多様なトピックが多様な学生の関心に応えられるという期待からです。過去の経験からこの事は功を奏しており、学生の授業評価からもそれが窺えます。

以上のことも含め、このテキストには、以下のような特徴があります。

- ・ バランスの取れた「読む、書く、聞く、話す」の4技能の向上を図る総合教材。各ユニットは、1時間の授業(90分)完結。また、半期完結用の全15課の構成にしました。
- ・ TOEIC や英語検定試験にみられる語彙と文法問題に対応したミニ練習問題を各課に追加。更に、リスニング練習には、本文内容確認だけでなく、TOEIC試験等にある短い会話を基にした聴解問題も取り入れました。更に、最終章後には、Further Practice として TOEIC 類似の問題(語彙、文法、リスニング練習問題)を追加し、余力有る学生の満足度アップを図りました。
- ・ 本文の読解のために、読む前に指針となる複数の具体的な質問と豊富な語(句)等のヒント。内容把握を重視した構成にしました。
- ・ 海外旅行を疑似体験—アメリカ入国から帰国まで。アメリカを旅する旅行者が、経験するであろうと思われる諸場面での短い会話を通して、すぐ役立つ平易な会話表現が学べます。
- ・ 英作文問題は、その課の本文や会話で学んだ語句、表現、構文を可能な限り復習する形式にし、その習熟度を高める工夫をしています。
- ・ コーヒーブレイクで、アメリカ理解と英語に関する豆知識を身につけながら、学生の学習意欲の向上や新鮮化をはかる工夫をしました。
- ・ 写真とイラストを豊富にして、視覚面からも理解度と興味をアップさせる工夫をしました。

外国語の学習は、その言葉が母語である国々の文化についても同時に学習することが肝要です。このテキストでは、こうした視点からも編集し著わしたつもりです。特に扱った人物、事項等に関してその歴史的視点を重視しました。今日のアメリカについての理解の一助になれば幸いです。本書が、学生の英語力とアメリカ理解のアップに役立つことを願っています。

最後に、本書の出版に賛同し、原稿推敲段階で様々な有益な助言をして下さった英宝社の編集部の方々に心から謝意を表します。予定通りに本書を上梓できてはっとしています。

2009年(平成21年)晩秋

著者

このテキストの使用方法について

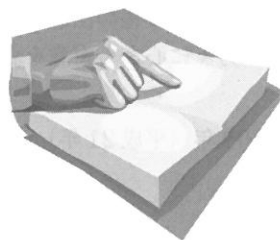
このテキストは、下記の6部構成になっています



1. 本文 — 本文を読む前に内容把握の指針になる Before Reading Passage の(Q)。
本文を読む前に、Qの質問を理解し、その答え探しをするつもりで単語等のヒントを参考に内容把握に努めることを勧めます。
2. 聴解練習 — 本文の内容確認をかねた Listening Comprehension。
質問も選択肢も文字にせず、耳に頼る文字通り聴解練習形式にしました。ややレベルは高いかもしれませんが、本文を見ながらでも良いので是非挑戦してほしいものです。
3. 海外旅行疑似体験 — アメリカ旅行を想定。短い会話に、書き取りと聴解練習。
生きた会話表現が多く含まれています。是非、暗記し運用能力化してほしいと期待しています。聴解練習の形式は、TOEIC 試験等に類似したものにしました。
4. 作文練習 — 本文、会話で既出の単語、表現、文章の反復練習。
本文、会話にヒントがあります。参考にしながら解いてほしいと思います。
5. TOEIC 形式の類似練習問題
Vocabulary & Usage — TOEIC や英語検定の語彙、文法問題と類似形式の練習問題です。5分で解答をと考えます。短時間での答えあわせを含め10分を想定しています。最終章後の Further Practice は Vocabulary & Usage と Listening Comprehension 問題を追加しましたので、より実力アップを目指す者はチャレンジしてほしいものです。
6. Coffee Break — 本文の内容に関する追加解説、エピソードや英語のミニ知識。
時間に余裕のある時に一読でもしていただければと思う文字通りのコーヒーブレイクです。

一応、毎時間、完結を想定しています。しかし、90分の授業で全部をカバーする必要はありません。授業の、主目的に沿って必要であれば一部割愛も可能です。例えば、読解とリスニング練習重視の授業であれば、「1」「2」「3」のみの使用でも問題ないと考えます。同じく、読解と作文に加え検定対策も含むのであれば「1」「4」「5」と Further Practice のみの使用でもよろしいかと考えます。

各ユニットは、完結ですので、関心のあるユニットから取り上げるのも一方法です。ただ、一部のユニット (Unit 1 & 2, Unit 13 & 14) は関連していますし、また、会話も連続性がありますので、この2点には留意が必要です。



◆ CONTENTS (目次) ◆

Unit 1 A Nation of Immigrants ① The Golden Gate 7

移民の国。黄金の扉。1776年独立以来世界各地から数千万人の移民を受け入れてきたアメリカ。今日も多くの人々は、「移民の国」アメリカを羨望の眼で目指す。



Unit 2 A Nation of Immigrants ② The Guarded Gate 12

移民の国と言われる一方で外国人を疑いの目で見るとアメリカ。アメリカは、9・11のテロ以来、外国人の入国に神経質になりだした。だが、こんな姿勢は以前からあった。



Unit 3 New American Face 17

今日、白人に次いでアメリカの人口で多くを占めるようになったヒスパニック系アメリカ人。「開かれた・移民の国」の恩恵者であり、その存在感が増しつつある。



Unit 4 Virginia 22

イギリスが、アメリカで最初の植民地として建設に成功したヴァージニア植民地。その建設が成功した理由は、何であったのか。また、その後の同州の歩みは・・・。



Unit 5 Boston 27

2007年、日本のプロ野球選手松坂大輔の入団で注目を集めたアメリカ北東部の中心都市ボストン。レッドソックスの本拠地のボストンは、どんな都市なのであろうか。



Unit 6 Philadelphia & Benjamin Franklin 34

アメリカの歴史を語る時、その独立時の中心的役割を担った都市フィラデルフィアと、建国の父の一人ベンジャミン・フランクリンを抜きには語れない。



Unit 7 Thomas Jefferson 39

アメリカで最も偉大な大統領の一人に挙げられる第三代大統領トーマス・ジェファソン。どんな大統領であり、どんな足跡を残したのだろうか。



Unit 8 Two Major Political Parties 44

アメリカの政治は、原則、国政も地方政治も民主党と共和党の二大政党制の下で行われている。各政党の支持母体、その主要政策の相違点は何であらうか。



Unit 9 Rise of American Nationalism 49

19世紀前半、アメリカには、ナショナリズムが高揚。1776年の独立後数十年の若きアメリカは、色々な分野でその独自性を打ち出そうとした。



Unit 10 The Debut As Great World Power 54

19世紀末、アメリカは、その目を国内から世界へ向けだした。それはアメリカ外交の基本モンロー宣言、孤立主義との決別であった。



Unit 11 Sport Teams' Nicknames 61

アメリカのプロスポーツチームは、それぞれに愛称がある。その愛称はその本拠地の歴史や特性と無縁でないものが多いようだ。



Unit 12 Douglas MacArthur 66

ダグラス・マッカーサー。第二次世界大戦後の日本の占領軍指揮官。日本の民主化の立役者、華々しい軍歴、人気とカリスマ性の持ち主の彼も最後は・・・。



Unit 13 From Slavery to Presidency ① The Solid Slavery 71

2009年1月アメリカ初の黒人大統領が誕生。17世紀始めに黒人奴隷制度が導入されてから390年。自由と平等の理念に反する奴隷制度は、約250年間続いた。



Unit 14 From Slavery to Presidency ② The Obama's Oval Office ... 76

リンカーン大統領による黒人奴隷解放宣言。だが、黒人は奴隷から解放こそされたが、それは黒人にとっては人種差別という新たな苦難の道のりの始まりであった。



Unit 15 NASA National Aeronautics and Space Administration 81

NASA と言えば、人類の宇宙への限らない夢を想起させる。今や日本人宇宙飛行士もそのミッションに参画しているアメリカ宇宙開発。NASAの足跡を辿る。



Further Practice (I~III) 87

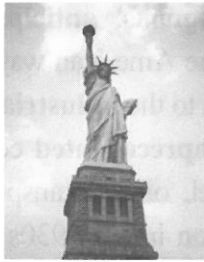
Appendix

- 1. アメリカと日本の概史 93
- 2. アメリカ歴代大統領 94

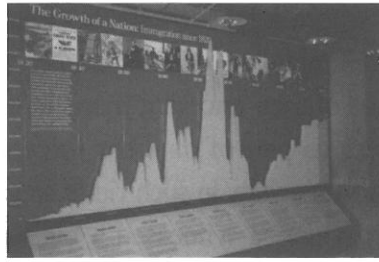
Unit 1

A Nation of Immigrants ①

The Golden Gate



移民歓迎の象徴と言われる自由の女神像



アメリカへの移民の推移を示すパネル (エリス島移民博物館)

Before Reading Passage

- Q1. アメリカへの移民 — その構成は、時代とともにどのように変化してきたのでしょうか？
- Q2. the Old Immigrants (旧移民)、the New Immigrants (新移民)とはどのような移民をさしますか？
- Q3. 移民は、新天地アメリカでどのような貢献をしたのでしょうか？

Words and Phrases

- ◆ approximately 「およそ」
- ◆ immigrants 「移民」
- ◆ statistics 「統計」
- ◆ bulk 「多く、大部分」
- ◆ composite 「構成」
- ◆ occupy 「～を占める」
- ◆ anticipate 「～を期待する」
- ◆ assimilate 「同化する」
- ◆ industrialization 「工業化」
- ◆ unprecedented 「前例の無い」
- ◆ lingering effect 「長引く影響」
- ◆ the Great Depression 「大恐慌、大不況」
- ◆ Hispanic 「ヒスパニック(中南米スペイン語圏出身の移民やその子孫)」
- ◆ surpass 「～より多い」

I Passage

There is a good reason to call America 'A Nation of Immigrants'. According to a U.S. official document, as of 2008 America has accepted **approximately** 73 million **immigrants** since **statistics** on immigration became available in 1820. They have accepted immigrants from around the globe. Up to the end of the 19th century, the **bulk** of the immigrants came from northwestern European nations such as Germany, Ireland and the United Kingdom. People coming from these countries were usually called the Old Immigrants. In the latter half of the 19th century, Germany, Ireland and the UK sent 4.4 million, 2.8 million and 2.6 million immigrants to America respectively. Toward the end of the 19th century and after the turn of the 20th century, however, the **composite** of newcomers was more **occupied** by those from southeastern European nations such as Italy, Austria-Hungary and Russia. The total number of

Italian immigrants reached over three million in the 20 years between 1901-1920, and immigrants from Russia about 2.5 million. 'The New Immigrants', as they were called, were distinguished by mainly settling in the major cities of the eastern seaboard such as New York, Boston and Philadelphia. The Old Immigrants, many of whom were Protestants except for the Irish immigrants, **anticipated** the New Immigrants, mostly Catholics, to **assimilate** into the American way of life. Regardless of their ancestry, many immigrants contributed to the **industrialization** of America as part of its labor force at the time of its **unprecedented** economic expansion, especially in such fields as garment making, steel, oil and transportation. Although America witnessed a big decline of immigration in the 1930s and the 1940s due to the **lingering effect of the Great Depression** and World War II, it continued to accept hundreds of thousands or even more than a million immigrants a year in the last thirty years of the 20th century. The numbers of **Hispanic** and Asian immigrants **surpassed** the number of European immigrants in this period. America still continues to provide a golden gate for those wishing to immigrate and to realize their dreams in this so-called land of opportunity

II Listening Comprehension



Listen to the tape and choose the correct answers about the passage.

1. A B C D
2. A B C D
3. A B C D
4. A B C D

III Let's enjoy traveling abroad! 1

入国審査

Immigration

Listen to the tape, fill in the blanks and then mark the correct answers for the questions below.

1. **Conversation** [A : Immigration officer B : Passenger, Traveler]

A : Passport, please.

B : a _____.

A : What's the purpose of your visit?

B : Sightseeing.

A : b _____?

B : About a week.

A : Where are you going to stay?

B : At the Hilton Hotel in downtown San Francisco.

A : Do you have anything to declare?

B : No, nothing.

A : What do you do back in Japan?

B : I'm a student.

A : All right. c_____.

B : Thank you.

2. Questions

- A. About a week. B. About two weeks.
C. Yes, about a week. D. About a month.
- A. For a home stay program. B. For sightseeing.
C. To work at the Hilton Hotel. D. To work at a travel agency as a guide.

IV Writing Exercise

Write the following Japanese in English.

1. (映画館) はい切符です。映画を楽しんでください。

2. 父は、退職後に母と一緒にアメリカ一周旅行をしてみたいと言っている。

3. 今年の日本への外国人観光客の数は、今年のそれより多くなるそうだ。

(「~より多くなる」 surpass)

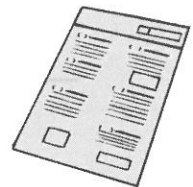
V Vocabulary & Usage

Let's try it in 5 Minutes!

下の各文で1～4は下線部と同義の語(句)を、5～8は()内に入る適語(句)を各々A～Dより選びなさい。



1. His request was cordially rejected.
A turned off B turned down C put off D pulled down
2. The professor instructed his students to submit their reports by the end of the month.
A hand in B hand out C drop out D drop in
3. The U. S. government displayed strong displeasure over the Japanese government decision to overhaul the treaty.
A held B impressed C expressed D exploited
4. The Japanese people are said to be a hardworking people.
A intelligent B insular C developing D diligent
5. The big box was () for me to move and I needed someone to help me move it.
A too heavy B too heavily C so heavy D being too heavy
6. When I entered my daughter's room, she was () to the radio in her bed.
A listened B being heard C to be hearing D listening
7. My father often () me with my English homework when I was a freshman in high school.
A helps B has assisted C helped D had assisted
8. "Let's have Chinese food for lunch today, ()?" "Yes, let's."
A we shall B don't we C shall we D shall I



Ans. 1. _____ 2. _____ 3. _____ 4. _____

5. _____ 6. _____ 7. _____ 8. _____

Coffee Break 1



“5万人にグリーン・カードが抽選で当たる！”

*** “DV ビザ 代理申請受付中” ***

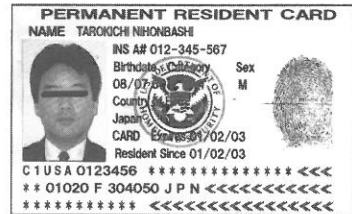
こうした広告を新聞等で見かけることがある。まず、グリーン・カード (green card)) とは、米国での永住権を得た外国人に与えられる登録証のことである。DVとは diversity visa (多様性を求めるビザ) の略。

1990年、米国は、新しい移民政策を導入した。それ以前に同国への移民数が比較的小さい国を優遇する形で移民全体の内訳に多様性を持たせるために導入したのが、DV 移民受入れ制度である。毎年最大5万5千人の移民枠が、前5年の移民数を参考にし、移民数が少ない主に欧州や北アフリカ諸国や日本等の各国に概ね数千人から数百人分が割り当てられてきた。一方、ほとんどの中南米諸国のように、一般移民数が毎年多い国には割り当てがない。「移民の国」と言われる米国らしい政策である。

グリーン・カードは通称で、正式には Permanent Resident Card と呼ばれ緑色ではない。発行当初のカードが緑色であったので呼び名として残ったようである。1990年「グリーン・カード」という映画も制作されたことがあった。アメリカを目指す者には、同カードは喉から手が出るほど欲しい物なのである。

△ 右—最新グリーン・カードの大まかなイメージ

顔写真、発行元の監督官庁のロゴ、指紋に加え、名前、生年月日、性別、出身国名等が記載されている。



☆☆☆ 自由の女神像 — アメリカのシンボリック的存在 ☆☆☆

自由の女神像は、その元の意味は「自由を照らす」であった。フランス国民からアメリカ独立百年を記念してアメリカに寄贈された銅像は、現在の場所には1886年に設置された。銅像が一般的に「自由」に加えて移民歓迎のイメージを抱かせるようになったのは、その台座の内壁に1903年にニューヨーク生まれのユダヤ人詩人エンマ・ラザラスの詩の銅板(右写真)が掲げられたのが端緒であろう。その詩の最後の部分(下記)を一読すれば領ける。



... Give me your tired, your poor,
Your huddled masses yearning to breathe free,
The wretched refuse of your teeming shore,
Send these, the homeless, tempest-tossed to me,
I lift my lamp beside the Golden door!

(略)この地によこさない。疲れ果て、貧しくて、自由な地での生活を望んでやまない貴地で群がる人々を。貴地に溢れんばかりに群がる哀れにも、ごみと化した大衆を。家もなく、大嵐に弄ばれる人々を私のこの地によこさない。私は、この黄金の扉のそばに灯を掲げます。(訳：著者)